

日本社会福祉系学会連合からの報告

日本社会福祉系学会連合
会長 保正 友子(日本福祉大学)

1. 日本社会福祉系学会連合の概要

日本社会福祉系学会連合は2006年に設立され、今年で17年目を迎えました。現在は、22の社会福祉系学会で組織されています。

これまで、①日本学術会議社会学委員会社会福祉学分会への協力、②日本の社会福祉系学会の交流と連携を通じた活性化、③研究条件向上のための社会的活動をおもな柱として、活動を継続してきました。

詳しくは日本社会福祉系学会連合のホームページをご覧ください。

<http://jaswas.wdc-jp.com/index.html>

2. 日本社会福祉系学会連合の具体的活動

以下、具体的な活動を4点ご紹介します。

第一は、加盟学会の全国大会・機関誌情報をお知らせしていることです。学会連合のホームページには加盟学会大会情報のページがあります。そこでは、加盟学会の全国大会、学会誌の発行状況、締め切りを掲載しています。また、過去の大会一覧もありますので、大会情報の把握の際にご活用ください。

第二は、2012年より災害福祉アーカイブを開設していることです。災害福祉に関する図書、報告書、論文、関連アーカイブ、支援活動、学会・研究所・大学等、その他の項目にそって収集しています。関連する情報がある場合には、学会連合事務局 (union-jssw@kokusaibunken.jp) (@を半角にして下さい)までお寄せいただくと幸いです。

第三は、加盟学会への補助金制度を設けていることです。この補助金制度は、加盟学会の活動に寄与するために、各加盟学会が開催するシンポジウム、講演会、研究会等にあたって、講師の旅費交通費または開催に際して発生する経費の一部を補助する制度です(2021年5月改正)。毎年、5学会まで、1学会につき5万円を限度としています。

第四は、日本学術会議社会学委員会社会福祉学分会のサポートを行っていることです。学会連合は、毎年開催される日本学術会議社会学委員会社会福祉学分会が行うシンポジウムに共催で関わり、共に社会福祉学の水準向上に向けた活動を行っています。

それ以外にも、学会連合独自に研究会を開催したり、定期的な学会連合ニュースの発行を行っています。

2022年度は、加盟学会会員を対象とした研究条件向上を目指す調査実施に向けた準備や、日本学術会議社会学委員会社会福祉学分会主催のシンポジウム(2023年3月26日予定)への協力を行う予定です。また詳細が決まり次第、加盟学会の皆様にお知らせします。

3. 今こそ加盟学会の英知結集を

現在、私たちのまわりには新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナへの武力侵攻をはじめ、貧困と格差、虐待、孤立・孤独、ヤングケアラーに代表されるケアをめぐる諸問題等、早急に取り組まなければならない課題が山積しています。

そのどれもが社会福祉に関連する課題であり、社会福祉に対する社会的期待はますます高まっています。今、ソーシャルワーク専門職のグローバル定義で提唱されている社会正義の実現や人権尊重に向けて、躊躇している余地はありません。多様な主体がそれぞれの立場から、できることを行っていく必要があります。日本社会福祉系学会連合も例外ではなく、社会福祉学やそれに関連する学問を学び追究する立場からのアプローチが求められています。今後はさらに、加盟学会との連携のもとで、英知を結集して社会への発信力を強めていきたいと考えています。

日本社会福祉学会の皆様には、学会連合の存在を知っていただくとともに、活動へも積極的に参加していただければと願っています。